

◆◇INDEX◇◇

- ・豪雪地域の「たすけ合い」に見る福祉のこころ
- ・寄り添って―大震災1年― ～朝日新聞より～
- ・高齢者の方と向き合いながら 田中 由紀さん
- ・障害者の方とともに 宮島 裕司さん
- ・医療の現場からふくしを考える 井浦 昌江さん
- ・新潟県地域同窓会長より 山賀 亮一さん
- ・ふくしの世界へようこそ
- ・インフォメーション

トキめき Welcome!

―ふくしの現場から高校生のみなさんへ―

寄り添って

大震災1年

4

「今日は何かを作るの」。午後3時半過ぎ、福島県南相馬市の鹿島小学校に設けられた児童クラブに、新潟県立大学の准教授、植木信一さん(44)が現れると、子どもたちが駆け寄った。「元気にしてたかい。ガリガリトンボを作るよ」。約40人の子どもたちを前に、植木さんは手に持っていたピンク色の「秘密の袋」を下ろし、中からストローや割りばしなどの材料を取り出した。

普段の笑顔 もう一度

南相馬の児童クラブを支援・県立大の植木信一准教授(44)



子どもたちにストローを使った「ガリガリトンボ」の作り方を教える植木信一さん＝福島県南相馬市の鹿島小学校

「子どもたちはストローを使った「ガリガリトンボ」の作り方を教える植木信一さん＝福島県南相馬市の鹿島小学校」

夏休みには再び、学生たちと一緒に南相馬市に行く予定だ。「何も特別なことをしに行くのではないんですよ。楽しみにしている子どもたちの約束を果たしに行くだけなのですから」

平成24年3月1日付 朝日新聞 新潟県版に掲載

植木 信一 氏 三条東高校出身／1993年 本学社会福祉学部卒業／
現在、新潟県立大学 生活学部 子ども学科准教授
担当科目：新潟県の子育て子ども家庭福祉、社会福祉援助技術 等

豪雪地域の「たすけ合い」に見る福祉のこころ

ようやく新潟の長い冬が終わりました。
この冬は新潟県内も平成18(2006)年豪雪を上回る積雪量が記録されたとのこと。まさに今年の冬は雪との戦いの日々だったと言っても過言ではありません。特に過疎地での日々の



除雪は高齢者の体と命を脅かす存在といえます。この冬だけでも県内では雪による死亡事故が26件起きています。うち、17人が65歳以上の高齢者の方たちでした。その他、重症症者は三四〇人以上にのぼります。

これに対し、冬も新潟県内では自治体・社会福祉協議会・福祉民間団体などを中心に除雪(雪かき)ボランティアを募集。22年の支えあいの機能が低下する中、こういう身近な助け合いの



全く違いますが、そこには地域の世代を超えた助け合いの精神が生かされているといえます。規模は「福祉」というものが存在しているが福祉ではなく私たちの足元にこそ、中に「福祉」の心を見ることができるといえます。地域の震災ボでできる人たちが、できるところから困っている人へ支援の手を差し伸べていく、大学で学ぶことだけに福祉ではなく私たちの足元にこそ、中に「福祉」の心を見ることができるといえます。地域の震災ボでできる人たちが、できるところから困っている人へ支援の手を差し伸べていく、大学で学ぶことだけに福祉ではなく私たちの足元にこそ、中に「福祉」の心を見ることができるといえます。

新潟県地域同窓会
会長 山賀 亮一

「高齢者の方と向き合いながら」

不登校を経験して感じた思い

社会福祉法人坂井輪会
居宅介護支援事業所
老人介護支援センター穂波の里
田中 由紀



私が社会福祉を学ぼうと思ったきっかけは、自らの不登校の経験からでした。中学生時代些細な出来事でつまづき、ほんの数ヶ月でしたが不登校となったのです。私が悩み、とまどってている最中、カウンセラーの先生はやさしく陽だまりのようにただ私の気持ちに寄り添ってくださいました。そのようなやり取りの中で私はまた再び元氣を取り戻すことができました。「困っている人の役に立ちたい！」という強い思いが芽生えました。割と早くに自分の将来や職業に対する目標は定まっていたように思います。

刺激的な学生生活

大学受験の時期となり、その当時新潟県内で社会福祉を学ぶ大学はなく、日本福祉大学を知ったのは、客員教授角野栄子さんの講演が県同窓会主催で行われたのを高校の友人と聞きに行ったことでした。本学を受験し社会福祉学部第三部（夜間主コース…現在は募集停止）に何とか合格し故郷から遙か遠く美浜で大学生活をスタートする事ができました。

在籍が夜間主コースと言う事もあり、同級生には社会人入学される方が多く、現役で看護師、介護福祉士等、昼間仕事をされてから大学に学びに来ている人が大半でした。

た。目的意識が強く、食欲に学ぶ姿を目の当たりにし、現役で社会経験もない私にとつてはかなり刺激的で学生生活を有意義に過ごす事ができました。卒業後10数年経った今でも同じ美浜で学んだ仲間達との交流は続いています。

生活背景に思いを馳せながら

大学卒業後は主に高齢者分野で仕事をしました。社会福祉士として一般病院の医療ソーシャルワーカー、老人保健施設の相談員、地域包括支援センター等いろいろ経験しましたが、現在は介護支援専門員（ケアマネジャー）として働いています。

様々な事情で介護が必要となった方々のかかわりの中で、その方がお元気でいらした頃に大切にしてくられた生活背景にも常に思いを馳せながら仕事をしています。支援していく上で、困難が起こった時の何らかのヒントに繋がる事があるからです。

卒業後も同窓会で様々な年代の方達とお話する機会があるのもこの日本福祉大学の魅力であると感じています。仕事上でぶつかる確かなアドバイスがあり、すーっと心がほぐれていく感じです。ご活躍されている先輩方にお会いし、まだまだ自分も未熟だなと感じる事もしばしばですが、これからも日本福祉大学で得た顔の見えるネットワークを大切に日々頑張っていきたいと思っています。

数年後に、皆さんとこの同窓会でお会いできることを楽しみにしています。ぜひ有意義な大学生生活を送ってください。



- ①新潟西高校
- ②社会福祉学部社会福祉学科

自分を磨くことから

社会福祉法人更生慈仁会

宮島 裕司



私の高校時代は甲子園を目指し、レベルの高い多くの競争を経験し、野球としての結果は大変に成果のあるものでした。自分なりにも成長したと実感していました。しかし、多くの競争を経験する中で「自分に競争が中心になる仕事は向かないのではないかな」という思いはどこかにありました。

サークル活動を通じて

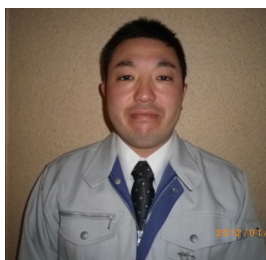
福祉を進路としたのは、自分の幸せい社会（他人）の幸せい福祉という少し短絡的な考えからです。日本福祉大を志望したのは、自分の実力よりもずっとレベルが高いこと、大先輩から専門性の高い大学であると聞き、挑戦しようと思ったのです。

でも、野球が好きで入学後、私は学業よりも体育会サークル活動優先で体と心を鍛え、さらに学部や出身地を問わない人間関係が広がりました。もともと自分を出しても良いこと（新潟県民はとても控えめです）、自分を知ると周りのことも安心して考えることができ、このことにも気付くことができました。

障がいのある方が働くということとは？

働き始めて早くも十六年が経過します。高齢者施設、障がいのある方の就労支援に従事しています。就労支援から考えさせられたことがあります。「障害のある方が働く」ということは、「福祉」の大きな柱のひとつで、当然、社会や経済情勢にも大きく影響を受けます。ですが、基本は人と人との密接な繋がりと責任、役割があります。その中で福祉の支援者として必要なことは、自分を『知る』こととであり、福祉のプロとしての判断ができる『知識』であり、障がいのある方の決断を支えることができる熱い『心』であると思います。

皆さんが専門性の高い日本福祉大で多くのことを経験し、笑顔と感謝の気持ちを持ち続け、豊かな人生のスタートをきることを願っています。



- ①新潟明訓高校
- ②社会福祉学部社会福祉学科

「障害者の方とともに」

「医療の現場から福祉を考える」

仲間や先輩とともに

医療福祉法人

新潟勤労者医療協会

井浦 昌江

私は現在、地域の病院で医療ソーシャルワーカーをしています。

「病気はよくなっただけ介護が必要になった」「病院にかかるお金がない」など病気をしたことと生じる困りごとについてどう解決するかを患者さんと一緒に考えていくのが仕事です。普通の高校生とはあまり縁のない仕事かな、と思います。

医療ソーシャルワークの

仕事がしたい！

私は高校の『学年だより』で社会福祉施設や病院に相談員（社会福祉士）がいることを知りました。

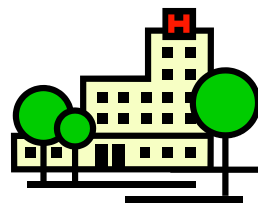
「福祉の時代が来る」などという言葉に魅かれ、「社会福祉士の合格率が高く、県外での一人暮らしができる」という全くもって安易な考えで日本福祉大を選びました。

大学受験を終えて一人暮らしとなり、開放的な気分、初めは意識の高い先輩や先生たちにはついていけず、逆に福祉に対する興味は薄れていく



かりでした。仲間たちは部活やボランティアなど頑張っていました。私は東京のライブハウスに出かけるなど、福祉とは関係のない人たちとの出会いを求めています。そんな2年生の終わり頃、ある講義で医療ソーシャルワーカーの仕事を知り、初めて「こんな仕事したい」と具体的に考えられ、3年生で医療福祉のゼミに入りました。自分がやる気になれば、答えのない問題を議論し一緒に考えてくれる仲間がたくさんいました。この大学に入って幸運だったと思います。

チームワークと技術力



さて、卒業し、資格も無事取得し、なりたいと思った医療ソーシャルワーカーの職にも就けました。しかし医療の現場は医師や看護師、リハビリスタッフ、薬剤師など専門職が集まっています。福祉は「優しい気持ち」だけではできません。この専門職集団の中で対等に仕事ができる技術が必要で

「私には無理かも」と困ったとき、共に学んだ仲間は遠く離れ離れですが、近くには同じ思いを持つ多くの先輩がいて助けてくれます。働き始めて歴史ある大学の魅力を改めて感じています。

- ① 新発田高校
- ② 社会福祉学部社会福祉学科

-日本福祉大学 新潟県地域同窓会長より-

福祉の仕事を目指す人、求められる人

日本福祉大学 新潟県地域同窓会 会長 山賀 亮一

福祉の分野では社会に出てから「資格」を取る方も増えていますが、高等学校を卒業して福祉系の「専門学校」や「大学」で勉強して資格を取り就職に役立てるというスタイルが一般的です。

確かに福祉の分野でも「資格を取れば就職に有利」という見方が広がり、今の時代は「資格」を持っていて当たり前という時代になってきたといえるかもしれません。特に資格の中には「国家試験に合格しなければ取れない資格」もあれば「単位」をとればもらえる資格もあります。福祉の分野も様々な職業・職種があります。具体的にどんな職業・職種に就きたいかにより取るべき資格も違ってくることに注意が必要です。

人として魅力は、資格以上の武器?!

私は「社会福祉士」や「保育士」などの資格を取得したいという学生が通う専門学校や大学に非常勤講師としてお手伝いに行くことがあります。

一方で施設長をしていますので学生を採用する側にも立ちます。日頃感じることは、就職には資格も大切ですが、一人の人間として魅力を持っていることが資格以上の武器になるこ



とです。障がいを持つ利用者の方の変化を見逃さない力、ちょっとしたつぶやきに根気強く耳を傾ける力、職場の内外を問わずに様々な職種・人とチームワークをつくる力などは専門職としての資質を評価する際にはとても大切な基準になります。



学校は資格取得だけでなく、

人としての魅力を身につける所

また、利用者の皆さんを明るく元気付けられる魅力を持ったスタッフがいるだけで、その職場（事業所）はとても明るい雰囲気をもっと出します。そういう素質を持つ人を私たちはとても大切に思っています。

学校は資格を取るだけではなく、自分自身の素質を生かし、人としての魅力を身に付けていける場所でもあります。資格の有無だけにとどまらない魅力的な人材を求め続けているのです。

- ① 巻高校 ② 社会福祉学部
- ③ 新潟もぐら会 ポプラの家 施設長

インフォメーション

新しい学年での生活が始まり、大学受験に向けて、パンフレットを取り寄せたり、実際に大学を見に行ったりと、徐々に準備を始めている方もいるかと思います。

- ・自分にはどの入試方法があるの？
- ・学費はどのくらいかかるの？
- ・将来、新潟県で就職はできるの？

大学に関して、皆さんの悩みや疑問を解決するために、下記の日程で進学相談会を開催します。お近くの会場にお立寄りください。



日 時	開催地域	会 場
6月11日(月) 15:00~18:00	上越市	ロワジュールホテル上越
7月26日(木) 時間未定	長岡市	ハイズ長岡
8月6日(月) 14:00~16:00	新潟市	現在調整中

※日程や会場が変更する可能性もありますので、開催日が近くなりましたら、再度大学HPで日程の確認をお願いします。

日本福祉大学HP <http://www.n-fukushi.ac.jp/>

上記の日程以外にも、日本福祉大学では、皆さんが抱えている疑問や質問に個別に対応しています。まずは、お近くの地域オフィス(富山オフィス、松本オフィス)まで、お気軽にご連絡ください。

『ふくし』の世界へようこそ

このリーフレットは、高校生の皆さんに、ぜひ福祉の専門家として、新潟県の“ふくし”を担ってほしいと願い、福祉の現場からのメッセージを編集したものです。

新潟県各地の医療、福祉、教育、地域、様々な現場では、本学出身のOB・OGの皆さんが活躍しています。

新潟県出身卒業生総数 880名 在学人数 42名

※2012年4月現在

また、2011年度は、新潟県から愛知県の進学者総数58名※のうち、14人(24.14%)が、日本福祉大学へ入学しています。(※平成23年度統計調査より)

新潟県人会で仲間づくりを！！

全国各地から学生が集まっている日本福祉大学。同郷の学生が集まり、親睦を深めるために活動をしているのが、県人会。

新潟県は富山県出身の学生と合同で、富山・新潟県人会を発足して、新入生歓迎会から交流等、様々な活動をしています。

将来は地元に戻って就職を…と考えている学生のために、新潟県同窓会との就職相談会も設けたりと、愛知県にしながら新潟県の求人情報を入手できたりと、就職面もしっかりサポートしています。

県人会を通じて、学部・学年を超え、たくさんの仲間に出会えること間違いなし。ぜひ、県人会へ！！



4月に行われた、富山・新潟県人会の顔合わせ会!!

オープンキャンパスを開催します！

自分の目で大学を確認できる、
絶好のチャンスです♪

大学のキャンパスってどんな感じなの？
キャンパス周辺の環境ってどうなっているんだろう？
そんなあなたの疑問、不安や悩みをスッキリと解決できるイベントがオープンキャンパスです。

大学生活、キャンパスの雰囲気を実際に自分の目で確認し、大学の魅力を肌で感じて取ってください。

◆事前申込不要 ◆学年不問 ◆入退場自由

学部学科別講義やキャンパスツアーなど、毎回様々なプログラムをご用意しています。

皆さまのご参加、お待ちしております。

※当日のプログラムは開催日が近くなりましたら大学HPに掲載しますので、ご覧ください。



美浜キャンパス

◆美浜 オープンキャンパス

- ・5月13日(日) 10:00 ~15:00
- ・7月22日(日) 10:00 ~16:00
- ・8月19日(日) 10:00 ~16:00
- ・11月4日(日) 10:00 ~15:00



半田キャンパス

◆半田 オープンキャンパス

- ・6月3日(日) 10:00 ~15:00
- ・7月29日(日) 10:00 ~16:00
- ・8月26日(日) 10:00 ~16:00
- ・10月28日(日) 10:00 ~15:00



日本福祉大学同窓会 新潟県支部・日本福祉大学 北信越ブロックセンター共同デスク

◆日本福祉大学 新潟県地域同窓会

〒950-0323 新潟市江南区嘉瀬1047-2 ポプラの家 TEL(025)280-3394 / FAX(025)280-4374

◆日本福祉大学 北信越ブロックセンター

富山オフィス / 松本オフィス
〒930-0002 富山県富山市新富町1-2-3 CiC(シック)4階
TEL(076)431-2027 / FAX(076)431-2028
Mail toyama@ml.n-fukushi.ac.jp
Blog <http://blog.n-fukushi.ac.jp/bc-toyama/>

長野県松本市深志1-1-24 中村不動産ビル3階
TEL(0263)31-9011 / FAX(0263)32-8018
Mail e-matsumoto@ml.n-fukushi.ac.jp
Blog <http://blog.n-fukushi.ac.jp/bc-matsumoto/>